

式 辞

菊花が薫る今日の良き日に、来賓各位のご臨席のもと、令和元年度厚真町表彰式をかくも盛大に挙行できましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。

本日表彰申し上げました皆様は、多年にわたる公益活動と善意によって、地域社会の振興と産業の発展に大きく貢献され、その功績が厚真町において広く認められた、厚真町表彰条例に基づく自治貢献賞六件、社会貢献賞二件、善行賞九件、合わせ十三名と四団体の皆様であります。それぞれ受賞されました皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、長年にわたる献身的なご尽力と不断のご努力・善意に対し、町民の皆様とともに深く感謝申し上げます。

本来であれば、昨年（平成三十一年度）において表彰されるべき方もいらっしゃいますが、平成三十年九月六日に発生した北海道胆振東部地震の影響により表彰式そのものを中止せざるを得なかったことを心からお詫びを申し上げます。

発災からすでに一年が過ぎ、町内では、地震による国の直轄砂防応急工事、直轄災害復旧事業（勇払東部）、北海道の治山・砂防工事、農地や宅地堆積土砂の撤去、災害廃棄物の処理、統合浄水場その他公共土木施設等の災害復旧工事が急ピッチで進んでいますが、爪痕深く残る被災山地では既に山々が紅葉に染まる季節を迎えています。

甚大な損害を被りながらも、これまで懸命に日常生活や生業の復旧に努めていただいている被災者の皆様には、改めて心からの敬意と感謝を申し上げます。特に、農業者の皆様には、様々な困難を乗り越えて、いち早く営農を再開していただきました。丹精を込めた農作物は平年作以上の作柄とお聞きしておりますが、発災時には、想像することすらできなかった豊穡の秋をこうして迎えることができましたのも、偏に、開拓以来多くの先達が艱難辛苦に耐えながら継承してきたフロンティアスピリッツの現れであり、農地に種や苗が植えられ、やがて緑色から黄金色に変わる景色に私たち町民は大いに癒され、そして励まされました。

一方で、まだ多くの方が仮設住宅や被災住宅等でご不便な生活を余儀なくされており、不安な日々を過ごされていることも被災地の現実であります。必要十分な心のケアとともに恒久的住宅対策として住宅再建支援策の普及や住宅地の確保、災害公営住宅、高齢者福祉施設等の建設を加速して

いかなければなりません。

今年も全国各地で自然災害が繰り返されました。台風十五号、台風十九号の二つの台風により、関東・東北を中心に過去に例を見ないほどの大雨によって多くの河川が氾濫し、多くの犠牲者を出し、今もなお、大勢の方々が避難所生活を余儀なくされています。犠牲になられた方、被災された皆さんに心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。私たちが経験した地震災害もそうですが、私たちは、自然の猛威に抗う術を持ちません。しかしながら、防災、減災という視点や復元力を高める対策には引き続き粘り強く取り組んでいかなければなりません。現在策定中の厚真町復旧復興計画では「災害に強いまちづくり」を基本方針としており、住民本位の強靱でしなやかな生活空間、生産空間の再構築により、町民の皆様が安全安心を実感できるまちづくりを推進してまいります。

明るい話題としては、来年に迫る東京オリ・パラやラグビーワールドカップ日本大会などスポーツ界に注目が集まりました。ラグビー日本代表チームは快進撃を続け、日本ラグビー史上初となる決勝トーナメント進出を果たしました。彼らのひた向きで熱いプレーは、ラグビーファンのみならず、日本中、世界中の人に感動を与えてくれました。ラグビーのモットーは対戦相手やチームメートをリスペクトすることであり、試合は審判の「ノーサイド」の掛け声とともに終了します。比較して東アジアや中東情勢に代表される世界情勢は、貧困や経済格差、宗教や民族を取り巻く不寛容など相変わらずの政情不安が続いています。何時の日か、ノーサイドの精神の下、寛容で貧困や経済格差がない真の世界平和がもたらされることを願って止みません。

令和の時代となり、半年が経過し、十月二十二日には、天皇陛下の「即位礼正殿の儀」が厳かに執り行われました。この令和の時代が災害の少ない時代、争いのない時代であることを祈りつつ、次代を担う子どもたちの未来を閉ざすことがないように、我々は平和を堅持し、自然環境と謙虚に向き合っていかなければなりません。町民憲章には、「たくましい精神と遠大な理想をもって平和と繁栄の道を歩き続ける」と謳っています。グローバルな時代にあってローカルな地域社会に生きている我々ですが、それでも、これまでの人類の歴史を正しく認識し、文化をはぐくみ、人々の尊厳を守ろうとする価値観を大切にしていきたいと思います。

本日は自由と平和を愛し、文化を高める国民の祝日にあたり、様々な会場において町民参加の文化祭が開催されています。自然に抱かれたこの町

に住み、高い文化を志向することは、豊かな人間性を培うことにつながります。生活と文化と自然、そして心が高い次元で調和する町こそが、地域社会の理想であると思います。

本日受賞された皆様方には、今後ますますご精進を重ねられるとともに、地域振興と文化の向上のためにご指導とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びになりますが、受賞の栄誉に輝かれた皆様に対し、重ねてお祝い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、併せて本町の復旧・復興と更なる発展を祈念して式辞といたします。

令和元年十一月三日

厚真町長 宮坂尚市朗